

授業科目 臨床栄養学

【担当教員名】 小林 一美	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

- 1) 栄養は人間が健康的に生きるために必要不可欠であるだけでなく病気の予防・治療においても非常に重要である。看護師として臨床栄養学知識を高めることの異議は大きい。
- 2) 臨床栄養学は基礎的な入門と位置づけられる。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 疫病予防及び治療における臨床栄養学知識の修得。
2. 臨床検査結果と臨床栄養の関連について理解する。
3. 生活習慣病を中心に疾患別食事療法の概要を理解する。
4. チーム医療としてのクリテカルパスや、栄養アセスメントなどへの栄養的アプローチを理解する。
5. 栄養知識を高め、自己の栄養管理ができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	臨床栄養学総論 栄養学基礎、栄養アセスメント		講義、VTR
2	疫病別食事療法 消化吸収、胃腸疾患、下痢、便秘		講義、VTR
3	嚥下・摂食障害、低栄養と食事		講義、VTR
4	糖尿病、糖尿病合併症の食事		講義、VTR
5	肝臓病、透析と食事		講義、VTR
6	高血圧、心疾患、高脂血症と食事		講義、VTR
7	肝臓、胆のう、膵臓疾患と食事		講義、VTR

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	エッセンシャル臨床栄養学	佐藤和人	医歯薬出版	最新版	3000円程度
	新食品成分表FOODS		一橋出版	最新版	760円
参考書					
その他の資料	補助資料適宜プリント				

【評価方法】 レポート、試験、出席などの総合的評価	【履修上の留意点】 予備知識としてのレポート作成で、自己の授業の効率を高める。
------------------------------	--